



創出については、事業者の皆さんの並々ならぬご尽力によって、一歩一歩進んでいます。事業者主体の新産業の創出となるように、伴走支援を

した地域経済構造分析調査に基づく施策を具体的に動かしていきます。また、新産業の創出については、事業者の皆さんの並々ならぬご尽力によって、一歩一歩進んでいます。事業者主体の新産業の創出となるように、伴走支援を

また、観光産業については、ちりめん街道エリアを重点的に位置付けてきました。住民

住民の皆さんが生涯にわたる学び続けることができるまちづくりを進めていくことが、地方創生の道筋になると考えており、学校教育や社会

① 新型コロナウイルス感染症から命と生活を守る

何よりも大切なことは、住民の皆さんの健康を支えることです。この間オミクロン株の急速な感染拡大に対応していくため、政府や京都府は従前の方針を転換しています。例えば、PCR検査については、これまで積極的疫学調査に基づく検査体制の充実ということを掲げられていましたが、この役割を一部市町村が担うことになりました。今後の状況変化によって、市町村が

② 経済成長を実現する

与謝野町は中小企業のまちで、さまざまな業種の事業所が存在しています。中小企業者の皆さんと共に経済成長を実現していくことは、地域の持続的な発展につながっていくと考えています。平成24年度に策定した「与謝野町中小企業振興基本条例」の見直しと、昨年度に実施

果たすべき役割があるとすれば、その状況に対応するためには必要な施策については、すべて実施していきます。

③ 多様な交流を実現する

交流は人と人を結び付けて、それぞれが豊かになり新しい価値を生んでいく土台になる要素があることから、多様な交流をより一層充実させていきます。具体的には、地域内の交流、移住定住の促進、国外の関係団体との交流、観光産業を強化していきます。中でも移住定住は、昨年度、過去最高の12世帯34人の方が本町の制度を活用して移住されました。コロナ禍において、

移住者・定住者からも選ばれた町になるためには、これまで行ってきた施策だけでなく、住民の皆さんの温かい受け入れが必要不可欠です。そうしたことから、制度面の充実と地域全体で移住者を支えていく風土づくりを併せて進めていく必要があると考えています。

④ 安心安全を実現する

新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえて、住民の皆さんが豊かに暮らしていくためには、安心で安全なまちづくりが重要だと考えています。感染症や災害から住民の皆さんを守るまちづくりを推進するには、日ごろから道路や河川の維持管理、地球温暖化に対する啓発などを行っ

ていかなければなりません。河川の浚渫など一つ一つの事業を関係機関と連携を図りながら実行していきます。また、子育て環境の充実として、野田川地域の認定こども園の新築開設に加え、出産準備金制度の創出について検討します。出産にかかる費用は、全国平均で50万円程度かかると言われています。国民健康保険や社会保険で、一定の財政的支援がありますが、さまざまなご家庭の話聞く限り、まだまだ財政的な支援があるとの声を聞きます。夫婦が子どもを望まれたとき、2人目、3人目と思われるときに、経済的にハードルが高いこともあると思いますので、1人当たり出産準備金10万円を提案しています。今後、具体的な措置として講じることができるよう調整を図っていきます。

⑤ 与謝野力の向上を実現する

住民の皆さんが生涯にわたる学び続けることができるまちづくりを進めていくことが、地方創生の道筋になると考えており、学校教育や社会

—— 3期目がスタートしました。現在の心境をお聞かせください。

住民の皆さんからの信託と期待をいただき、その責任の重さを改めて感じています。選挙期間中、子どもからお年

寄りまで多くの方と接し、一人ひとりの思いとまちづくりに対する熱意を受け止めることができました。与謝野町は、可能性と希望にあふれる町ということを改めて感じることができました。

継続的に行っていきます。

—— ここの2年間は、新型コロナウイルス感染症対策を中心に取り組まれてきましたが、振り返っていかがでしょうか。

大きな成果としては、新型コロナウイルス感染症対策を全職員、そして住民の皆さんと協働して取り組むことによって、町内の感染拡大を一定抑えられたことです。また、社会活動や経済活動については100%戻っている状況ではないですが、できる限り住民や事業者の皆さんを支えられたことも成果だと認識しています。

しかし、4年前の町長選挙において5つの基本政策と22の施策を提案しましたが、社会状況の変化もあり、一部取

り組めなかった施策があったことは反省点です。2期目の反省点をいかしながら、3期目の公約に基づく町政運営を推進していきます。

7つの基本政策

—— 選挙では「7つの基本政策」を掲げられていました。特に重点を置く政策についてお聞かせください。

基本政策の理念は「安心安全」「活力向上」「住民参画」の3つです。中でも重点を置く政策は「新型コロナウイルス感染症対策」です。連日、京都府内で1000人前後、町内でも感染者を確認しています。住民の皆さんの命と生活を守ることを最優先事項としています。

また、子ども子育て環境の

充実にも率先して取り組みます。子どもたちに優しい社会は、高齢者の皆さんにも優しい社会と言えます。子育て環境を充実させることによって、すべての住民の皆さんの日常生活を下支えしていきます。



4月10日執行の与謝野町長選挙で3選を果たした山添藤真町長。18日には初登庁し、山添町政3期目の挑戦がスタートしました。人口減少やコロナ禍による地域経済の低迷などさまざまな課題を抱える中、7つの基本政策を掲げる山添町長に3期目に臨む今の心境とまちづくりへの考えを聞きました。

美しいまちを次世代に

山添町政、3期目の挑戦



令和3年12月に開園したつばきこども園